

景品附特賣

舊正月二日三日
御來店の御方には漏なく粗品呈上

時計、貴金屬
眼鏡、指輪類
金光堂
五丁目 電話七三六番

切斷の苦しみなく、
ゆびはれ、やけど、淋病
梅毒、きりきり、乳はれ
くさ、りうまちす
其他化膿するもの一切

靈藥ムテキ

發賣元 **阿康藥店**
縣社下古御治町(電話四四番)

スグキク 風、頭痛、
効力本位 神痛 **ラヒト** 有偽物
丹波博士創製 **たんばあめ** 要注意
セキ トメ うまくてセキ
がヨクトマル

磐城名物

干やなぎ
塩から
御進物に好適
御用命次第
廉價御提供



魚問屋

目丁四平
屋問魚屋市丸
番三一二話電

藤沼醫院

内科、小兒科、花柳病科

入院需應
平町紺屋町
電話五五〇七番

常盤新聞

日刊 發行編輯人 川崎文治
本社下町番地(電話六三〇番)
印刷所 常盤毎日印刷所

第一金部 廣五號十二
第二金部 告字一十行
第三金部 料五號一十行
第四金部 刊日一
第五金部 刊日一
第六金部 刊日一
第七金部 刊日一
第八金部 刊日一
第九金部 刊日一
第十金部 刊日一

刊夕日一卅月一

第二期營業報告

(昭和四年下半年)

貸借對照表

資本金	三、七五〇、〇〇〇
未拂込金	五〇、〇〇〇
負債之部	
資本	五、〇〇〇、〇〇〇
積立金	一、三二四、〇〇〇
受入金	五、八五五、〇〇〇
社債及借入金	三、三六五、〇〇〇
支拂手形及未拂金	五、七三三、〇〇〇
未拂配當金	九、五七二、〇〇〇
當期利益金	六、〇七三、〇〇〇
合 計	六、五九六、五九六

利益金處分

當期利益金	六、〇七三、〇〇〇
內諸銷却	四、〇〇〇、〇〇〇
社債利子引當	七、九八五、〇〇〇
諸積立金	四、〇〇〇、〇〇〇
役員賞與金	三、五〇〇、〇〇〇
株主配當金	三、〇〇〇、〇〇〇
後期繰越金	四、二二一、〇〇〇
昭和四年十二月卅一日	

植田水力電氣株式會社

取締役社長 金成通
取締役 白井博之
同 安島重三郎
同 高岡唯一郎
同 小林誠次
同 古川傳一
同 根本祐太郎
同 馬上一誠
監査役 馬上一誠

時計環常盤屋

平町電三三九

消費節約—防火衛生—優美堅牢

久釜屋商店

平町五丁目(電話九番一三九番)



暖爐界之征服者
ネンシヨウストーブ
經濟的連續完全燃燒

簡便を欲せらる、御方は
是非御試し下さい

和久井屋漆器店

平町一丁目 電話四〇五番

舊正月二日三日
景品付 初大賣出し
御買上金壹圓毎に福
引券一枚宛差上ます

一等	桐箆筒
二等	鏡臺食卓戸棚
三等	衣箱鏡臺食卓
四等	染吸碗箱入食卓
五等	菓子器上等漆盆
六等	上等漆繪付漆盆
七等	弊店名入手拭狀差
八等	ふきん掛け臺手拭掛等

全部家庭實用品を差上ます
午前二時より三時まで
來店の御客様には特に
品を差上ます

可愛御子様への祝品賣出し

羽子板 破魔弓

平町四丁目(電話七二二番)
スガノヤ提灯店

市原醫院

平町新川町 電話一六四番
木村病院

内臓外科 醫學博士 **藤本 順**
整形外科
婦人科 院長 **木村寅次郎**
産科

市原醫院

平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原 陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男
入院隨時

動力使用

最新獨逸式製材機取付
製板製材 並びに諸
建築用材 一式請負

増尾木工場

迅速—丁寧—安價
平町仲町 **増尾甚市郎**
電話四六九番

吉田眼科醫院

平町電三三九

選舉事務長を定め 政民兩派の前準備

政友は山崎氏民政は萩原氏
大激戦の日愈々迫る

石城政友部會にては平署前
通り角大泉商店に設けた臨
時事務所にて昨日午後一
時から幹部會を開き種々選
舉對策を練つたが選
舉事務長には縣會議員山崎
吉平氏就任し愈々選舉戰の
火蓋を切る等にて先づ遊説
部を二つに分ち第一部長に
縣參事員鈴木辰三郎氏、第
二部長に前縣會議員井上茂
作氏と決定郡内各所に論陣
を張る一方官憲の干渉壓迫
に備ひ共事實あつた場合に
は直ちに摘發して是れに對
抗せんが爲め

監視部 を設計其の
部長に元平警察署長伊藤儀
七氏、副部長に前平署刑事
部長青田保太、元高等刑事
渡邊儀一の兩氏夫々就任し
各町村に監視員を散在せし
むる由であるが一方民政派
にては秋原義雄氏選舉事務
長となり運動員を

統率し 来る六日頃
から言論戰を開始する意氣
込みで目下準備中との事で
あるから石城政民兩派大激
戰の幕台が展開されるのも
愈々間近である

好天氣の二日市も 客足が割合少く スリが出没して 私服署員の眼が光る

平町は本日が舊曆正月の二
日市で全町の各商店は店前
に商品や高き積み重ね
て、福引や景品付の賣り出
しに血眼の顧客爭奪戰を演
じたが例年稀らしい好天氣
に恵まれ殊に舊歲末賣出し
を大々的に行はなかつた關
係から買ひ物の好機逸す可
からずとなし押しも返せぬ
人出であらうと豫想された
が案に相違して思つた程の

不景氣さ を痛感せ
ずには居られない、夫れに
引き代へ大雜沓の巷に拘摸
が出沒隠顯して午前四時
から十一時迄の間に常盤銀
行平支店前へ揃へも揃つて
左記の如く三人の者が拘摸
に逢ひ

▽石城郡平窪村字下平窪
久保田アサ(五)は十圓札
在中の財布▽同赤井村字
田町猪狩吉太郎(四)は廿

變造小爲替で マンマと酌婦買ひ

廿錢を廿圓と胡魔化して
犯人は行衛を晦す

鮎漁場調査 磐城丸報告

平町南町飲食店浪花屋事藤
澤リ(三)方に去る二十三
日午後八時頃二十四五歳位
の一見會社員風の男が登樓
し同家の酌婦君子を相手に
遊び代金四圓を支拂ふとて
二十圓の小替爲を君子に渡
したので十六圓の釣錢を興
へたが二十七日前記リは
其の小替爲を家主である南
町辰の口酒店に家賃として
渡したので鈴木店主は翌朝
平郵便局にて現金に換へん
とした處右爲替は會津若松
驛前局振出しの二十錢爲替
を二十圓に變造した事判明
平署より刑事出張し種々取
調べた處同被害が各所にあ
り多分同一犯人の所爲らし
く極力犯人捜査に努めてあ
る

耳の鬼

模範兒童と狂人
米國のボストン
にはロックフェ
ラー財團が支持
する素晴らしい精神病研究所



家庭知識

火消壺は氣が、りなもの
です、火消壺が破れて火を

失する場合が少なくない、よ
く七輪の脇にお放しにしま
すが、あれは危険で水がめ
のふたの上とか大きい鐵鍋
の中とか、流しものた、
きの上とかにおくものです
又バケツに薄く水を張りそ
の中へ五徳を臺にして火消
壺をのせておくものです

口中の荒れに焼明禁水、
胃を悪くしたりとか等で舌
が荒れてお湯を飲むにさへ
非常には差支るやうな場合焼
明禁水でうがひをするとか
二三度でなほつてしまひま
す、分量は先づ水飲みコッ
プに冷水か微温湯を入れそ
れに焼明禁を小匙に一ぱい
入れ、は結構です

驚く可し萬引額 實に五千圓に及ぶ

身は吳服店主にありながら
遊興費に窮した結果

双葉郡木戸村大字山田藩字
坂下三同郡瀧田村生れ吳服
店主青木甚吉(三)が平町の
各商店に於て一昨年來繼續
的に多額の萬引をなし此程
平署に逮捕された事は既報
の通りであるが彼が萬引を
した品物の總點數は實に八
百十二點の多きに達し其價
格四千九百二十六圓四十一
錢を算してゐる彼は其の中
五百圓分を買却し平町田町
料理店大貞外數軒にて遊興

費消してゐたものにて發覺
の動機は犯人が吳服商なる
所より屢々伊關吳服店と懇
意を重ね同店が最近犯人の
家を訪ねし際自分の家の正
札のついてゐる反物を彼の
店より發見した事等から足
がついたものであると因に
被害を蒙つた商店及び被害
高は次の如くである

軍事劇太陽團

昨日から蓋を開く
過般來福島、若松、郡山

- △四十五錢
- △白銀町又正二から吳服類百九十一點價格七百九十五圓六十五錢
- △四丁目日進堂洋服店から洋服類價格七十二圓
- △四丁目正札堂洋服店から二二點價格三百三十五圓二十錢
- △三丁目三井吳服店から二二點價格四百五十八圓八錢
- △三丁目馬目洋服店から十七點價格廿二圓二十錢
- △三丁目影山彰助商店から價格二十四圓五錢
- △二丁目山家洋品店から二十六點價格四圓五十五錢

白銀の小火

煙突の不始末
平町白銀町旭樓事荒木忠治
方煙から三十日午前十一

其他に諸演空前の好評を博し斯界第一者なりとの賞讃を重得したる軍事功勞者大橋幸太郎氏統卒の教育連鎖劇太陽團一行四十餘名の大一座は一昨日から五日間の豫定で平町聚樂館に於て縣社會課帝國在郷軍人會福島支部同石城郡聯合分會、同平町分會、平町青年團主催の下に多大の期待を以て蓋を開いたが團員一統の入神の技と獨特の舞台背景電氣照明裝置と相まつて非常な好評である

舊元日に

白銀の小火

煙突の不始末

平町白銀町旭樓事荒木忠治
方煙から三十日午前十一

平町人事

- ▲出生
△六間門五 東條祐英氏長男祐博
- ▲婚姻
△杉平一六 猪狩寛治氏(四三)胡摩澤一三 落合ハル(一九)
- △仲町十一 吉田サダ(二三)石城郡草野村大字下神谷字内宿 齋藤右内(三〇)
- ▲死亡
△三丁目一 當時仙台市北四番町齋藤米次郎氏息子大典(二ツ)